

平成19年 4月創刊

本紙は月刊で、書店などでの店頭販売の他、郵送によりお届けいたします。購読を希望される方は、電話 048-242-3877、FAX 048-242-3888、HP <http://www.tojoshinbun.com/>よりお申込みください。

東上沿線新聞

発行 東上沿線新聞 〒351-0021 埼玉県朝霞市西弁財1-10-21
 プリランテ朝霞台210号 電話048-242-3877 FAX048-242-3888

東武東上線沿線
 地域の情報紙

平成19年1月 第0号

毎月1日発行、1部250円、
 年間購読3000円

25人学級、ホームスタディ制度 着実な成果

志木市の教育改革

「小1プロブレム」が消えた

埼玉県志木市は、市内の小学校で一クラスの人数を減らす25人程度学級（「志木つ子ハタザクラプラン」）や、不登校児を対象とするホームスタディ制度（「サクランボプラン」）など、当時は全国でも初めての教育改革を平成十四年度から実施している。この改革は現長沼明市政でも引き継がれ、着実に成果を上げつつある。

志木市の教育改革の内容と現時点の評価を、教育委員会学校教育課長八巻公紀さんに聞いた。

市費で教員を採用

「二十五年学級制についてご説明いただけますか。」

八巻 当時の四十人学級では多過ぎるということから始まりました。（少人数学級は）教員の長年の夢でした。市内の幼稚園、保育園の一クラスの平均が二〇・三人でした。そこで、二年生は幼稚園、保育園よりやや多くする二十五人、三年生は二十人とし、緩やかに出ましたが。



25人学級の授業風景(志木市内の小学校)

四十人に近づいていく、という構想をたてました。

「少人数学級になれば当然先生の数が多く必要になりますね。」

八巻 県教育委員会は当初、なかなか同意してくれなかったのですが、最終的に、志木市が自分で教員を雇うならよい、という回答をいただきました。ただ、担任をさせないようにと、そこで県費負担職員で今まで担任外の人を担任にし、担任がもっていた課目に市費で雇った人を入れた。今は市費で雇った人を担任に充てることもお許しがあつた。

八巻 改革の目的の一つが、採用のところで市独自の展開ができないかとある方ならどなたでも参

加できる。模擬授業を二十分やってみてもらい、それを大人の生徒が受け、いわゆる質問をしたりする。受験する先生の人柄と気合なども加味して選んでいます。二次審査の段階でこれはという候補者には何校も競争するのがある。一つの教室に生徒役が百名近くになる場合もありました。昨年度からは県でも模擬授業を取り入れるようになりましたが、わずか五分間のようなものです。

「市費の教員採用は何名おられますか。」

八巻 今年は一十一名です。最初の計算では十五名予定していましたが、採用された先生方は、ほんとは一所懸命やりますよ。市内にアパートを借りて住む人も毎年二、三名います。

「不登校児を在宅指導」

「ホームスタディ制度」とはどのような制度ですか。

八巻 これは不登校対応です。心身障害や怪我で入院している長期欠席の状態にある児童生徒に、親や本人が望むなら、ボランティア登録している先生方をあなたの居場所

「小1プロブレム」が問題になっている。要するに小一の担任がベテランでも、学級統制がなかなかとれない。小学校の先生に聞くと、二十人を超えたと視野に入らない時があるという。コミュニケーションがとれる人数について、自分達の視野にいつ入ってなくちゃいけない。小学校の低学年は二十五人程度。これにやっぱ教育的だろうと。最終決定は教育委員会が検証を含めて二十五人程度にしたわけです。

「ホームスタディ制度について」

八巻 二十五年程度学級

落ちこぼれを作ってはいけない

穂坂 前市長



穂坂 志木市の教育改革をリードしたのは二〇〇一年七月に市長に就任した穂坂邦夫前市長（地方自立政策研究所理事長）だ。穂坂氏に、改革の狙いなどを聞いた。

「市長になられて色々な改革をなされたなかで教育がメインだったと思えますけれども、

「市長になられて色々な改革をなされたなかで教育がメインだったと思えますけれども、

「市長になられて色々な改革をなされたなかで教育がメインだったと思えますけれども、

「プロブレム」が問題になっている。要するに小一の担任がベテランでも、学級統制がなかなかとれない。小学校の先生に聞くと、二十人を超えたと視野に入らない時があるという。コミュニケーションがとれる人数について、自分達の視野にいつ入ってなくちゃいけない。小学校の低学年は二十五人程度。これにやっぱ教育的だろうと。最終決定は教育委員会が検証を含めて二十五人程度にしたわけです。

「ホームスタディ制度について」

穂坂 二十五年程度学級

「その後の検証でも、成果が上がっていると評価」

「安倍新政権が、教育改革を柱に掲げています。これについて一言。」

穂坂 教育基本法をしっかりと守るのも、それは考え方でしよう。優秀な子どもたちを育てるのも、大切でしょう。しかし、教育というのは、学校の権限で自由に変えてよいことになつてはいけない。安倍政権でも、教育の再生を考へるなら、落ちこぼれをつくらないことが即、高度な義務教育につながるんだ、と理解してもらいたいと思います。

「私でもお役にたてるんだつたら」という人たちが、どういふ子供が適用されるのか。

八巻 適用は希望したら

アイデアの宝庫 渡部鳥取大教授

志木市の教育改革の第一の目標は、子供本位であること。すなわち、いゆる教育の中には、そうでないものもありませんが、志木市の場合には、本気で子供にとって有益と考えることを取り上げるアプローチを取っています。

「少人数学級について、長い目で見て、子供たちが学級で学び、生活して

「この制度の成果は、八巻 文科省は年間三十日以上欠席を不登校児童生徒としてカウントしますが、志木市ではカウントされてはいる子供でもかなりの支援が加わっている。とらえていただいている。二十代の若者と、四十代の主婦層が多く、家庭や公共施設で指導を受けています。そのなかには不登校状態、家に閉じこもっている状態から一歩外に出ることが可能になった子もいます。」